



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月7日

上場会社名 株式会社ヨンキュウ 上場取引所 東  
 コード番号 9955 URL <http://www.yonkyu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠岡 恒三  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長兼経営企画課長 (氏名) 善家 富夫 TEL 0895-24-0001  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	9,025	△8.6	357	△9.3	455	0.9	242	10.4
27年3月期第1四半期	9,875	2.3	394	△20.9	450	△20.4	219	△12.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 386百万円 (50.9%) 27年3月期第1四半期 256百万円 (△6.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	21.07	—
27年3月期第1四半期	19.07	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	26,876	22,497	83.7	1,952.32
27年3月期	26,455	22,248	84.1	1,930.75

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 22,496百万円 27年3月期 22,247百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,300	△10.1	628	△28.6	724	△26.4	400	△26.4	34.71
通期	38,000	0.3	1,385	1.8	1,600	1.0	820	0.8	71.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（4）追加情報」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期1Q	11,556,084株	27年3月期	11,556,084株
28年3月期1Q	33,378株	27年3月期	33,328株
28年3月期1Q	11,522,715株	27年3月期1Q	11,522,993株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年6月30日）におけるわが国経済は、原油安や低金利など良好な企業経営環境の持続や、人手不足に伴う所得雇用環境の改善による消費者マインドの持ち直しを背景に、緩やかな回復基調が持続いたしました。

また、養殖業界におきましては、魚価の低下や配合飼料の値上げによる養殖コストの上昇などもあり、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループでは、引き続き、養殖魚の新ブランド（カラーゲンシリーズ）の販売推進など、国内市場における販売シェア向上と業務の効率化・コスト削減に努めてまいりました。

また、新規事業の「ウナギ養殖事業」においては、新ブランド（若うなぎ）として、成鰻を順次出荷しております。

その結果、「鮮魚の販売事業」では、ハマチの魚価が安値基調で推移したことや、人工ふ化稚魚の販売数量が減少したことなどにより減収、「餌料・飼料の販売事業」では、生餌の価格低下、4月からの配合飼料の値上げに伴う前連結会計年度末の駆け込み需要の反動から配合飼料の販売数量の減少などにより減収となりました。

利益面では、人工ふ化稚魚の販売数量の減少などにより営業利益は減益（36百万円減）となりましたが、営業外損益において出資証券の運用益計上（前年同期28百万円の運用損）などにより、経常利益以下の各利益は増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は90億25百万円（前年同期比8.6%減）、営業利益は3億57百万円（前年同期比9.3%減）、経常利益は4億55百万円（前年同期比0.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億42百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

セグメントの名称	平成27年3月期 第1四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	平成28年3月期 第1四半期連結 累計期間売上高 (百万円)	対前年同期比較	
			金額差異 (百万円)	増減率 (%)
鮮魚の販売事業	7,065	6,676	△389	△5.5
餌料・飼料の販売事業	2,794	2,340	△453	△16.2
その他の事業	14	8	△5	△40.4
合計	9,875	9,025	△849	△8.6

(注) セグメント間の取引については、相殺消去しております。

「鮮魚の販売事業」では、ハマチの魚価が安値基調で推移したことや、人工ふ化稚魚の販売数量の減少などにより減収減益となりました。

この結果、売上高は66億76百万円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益は1億33百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

「餌料・飼料の販売事業」では、生餌の価格低下、4月からの配合飼料の値上げに伴う前連結会計年度末の駆け込み需要の反動から配合飼料の販売数量の減少などにより減収減益となりました。

この結果、売上高は23億40百万円（前年同期比16.2%減）、セグメント利益は2億35百万円（前年同期比17.4%減）となりました。

「その他の事業」では、売上高は8百万円（前年同期比40.4%減）、セグメント損失は4百万円（前第1四半期連結累計期間はセグメント損失9百万円）となりました。

なお、セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は198億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円(0.5%)増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の増加(68億96百万円から73億62百万円となり、4億65百万円増加)、商品及び製品の増加(6億25百万円から8億84百万円となり、2億59百万円増加)、短期貸付金の減少(8億26百万円から4億64百万円となり、3億62百万円減少)、現金及び預金の減少(111億35百万円から110億2百万円となり、1億33百万円減少)等によるものであります。

固定資産合計は69億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億27百万円(4.9%)増加いたしました。これは主に投資有価証券の株価上昇の影響による投資その他の資産のその他の増加(42億25百万円から45億72百万円となり、3億46百万円増加)等によるものであります。

この結果、資産合計は268億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億20百万円(1.6%)増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は39億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円(2.5%)増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少(25億25百万円から21億17百万円となり、4億7百万円減少)と未払法人税等の減少(3億93百万円から1億91百万円となり、2億1百万円減少)及び短期借入金の増加(7億円の計上)等によるものであります。

固定負債合計は4億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円(19.8%)増加いたしました。

この結果、負債合計は43億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億72百万円(4.1%)増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は224億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億48百万円(1.1%)増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加(4億85百万円から6億29百万円となり、1億44百万円増加)と利益剰余金の増加(164億67百万円から165億71百万円となり、1億4百万円増加)によるものであります。

この結果、自己資本比率は83.7%(前連結会計年度末は84.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しとしましては、6月から7月にかけて愛媛県宇和海の広範囲に赤潮が発生し餌止め等の対応により、今後の業績への影響が懸念されますが、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上、利益共にほぼ計画通りに推移しており、平成27年5月8日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、今後「業績予想の修正等」に関する開示の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### (4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更及び小数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,135,356	11,002,120
受取手形及び売掛金	6,896,203	7,362,078
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	625,537	884,592
仕掛品	1,038,659	1,125,950
原材料及び貯蔵品	22,632	13,931
短期貸付金	826,766	464,190
その他	350,783	158,923
貸倒引当金	△1,196,556	△1,219,438
流動資産合計	19,799,383	19,892,349
固定資産		
有形固定資産	2,876,668	2,881,034
無形固定資産		
のれん	117,189	93,751
その他	1,972	1,949
無形固定資産合計	119,161	95,701
投資その他の資産		
その他	4,225,285	4,572,138
貸倒引当金	△564,672	△564,726
投資その他の資産合計	3,660,613	4,007,411
固定資産合計	6,656,443	6,984,147
資産合計	26,455,826	26,876,496
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,525,179	2,117,436
短期借入金	—	700,000
未払法人税等	393,530	191,829
賞与引当金	17,679	4,619
その他	881,128	898,431
流動負債合計	3,817,516	3,912,316
固定負債		
役員退職慰労引当金	62,202	67,764
退職給付に係る負債	157,890	160,901
資産除去債務	26,432	26,525
その他	143,327	211,961
固定負債合計	389,852	467,152
負債合計	4,207,369	4,379,469

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,187,615	2,187,615
資本剰余金	3,124,285	3,124,285
利益剰余金	16,467,283	16,571,754
自己株式	△16,712	△16,781
株主資本合計	21,762,471	21,866,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	485,055	629,176
その他の包括利益累計額合計	485,055	629,176
非支配株主持分	930	978
純資産合計	22,248,457	22,497,027
負債純資産合計	26,455,826	26,876,496



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	9,875,143	9,025,732
売上原価	8,657,066	7,714,455
売上総利益	1,218,077	1,311,276
販売費及び一般管理費	823,971	953,781
営業利益	394,106	357,494
営業外収益		
受取利息	32,450	36,072
受取配当金	16,506	39,317
投資不動産賃貸料	9,706	10,525
その他	32,163	19,356
営業外収益合計	90,826	105,272
営業外費用		
支払利息	—	404
投資不動産賃貸費用	4,527	7,194
投資事業組合運用損	28,681	—
その他	819	0
営業外費用合計	34,028	7,600
経常利益	450,903	455,166
特別利益		
固定資産売却益	54	182
特別利益合計	54	182
特別損失		
固定資産除却損	6	1,328
特別損失合計	6	1,328
税金等調整前四半期純利益	450,951	454,020
法人税、住民税及び事業税	213,643	190,216
法人税等調整額	17,533	21,012
法人税等合計	231,177	211,229
四半期純利益	219,774	242,791
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	47
親会社株主に帰属する四半期純利益	219,784	242,744

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	219,774	242,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,699	144,121
その他の包括利益合計	36,699	144,121
四半期包括利益	256,474	386,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256,484	386,865
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	47

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,065,776	2,794,594	9,860,370	14,773	9,875,143	—	9,875,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	108,014	108,014	38,617	146,631	△146,631	—
計	7,065,776	2,902,608	9,968,385	53,390	10,021,775	△146,631	9,875,143
セグメント利益又は 損失(△)	136,380	285,199	421,579	△9,621	411,958	△17,852	394,106

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の一般貨物運送事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△17,852千円には、セグメント間取引消去における内部利益△3,480千円、のれん償却額△23,437千円及びその他の調整額9,066千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,676,092	2,340,830	9,016,923	8,808	9,025,732	—	9,025,732
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	156,434	156,434	40,785	197,220	△197,220	—
計	6,676,092	2,497,265	9,173,358	49,594	9,222,952	△197,220	9,025,732
セグメント利益又は 損失(△)	133,106	235,598	368,705	△4,382	364,323	△6,828	357,494

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の一般貨物運送事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,828千円には、セグメント間取引消去における内部利益△2,866千円、のれん償却額△23,437千円及びその他の調整額19,475千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。